

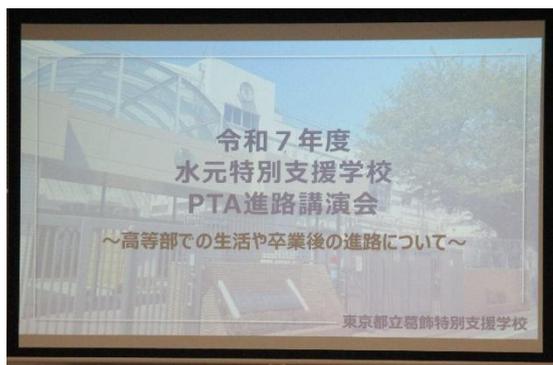
し え ん ぶ 支援部だより

第6号

令和8年3月6日
東京都立水元特別支援学校長
野口 幹人
担当：支援部 金野

今年度も一年間、皆様に御理解及び御協力をいただきありがとうございました。
今号では2月に行われた保護者向け進路講演会の様子を御紹介します。また副籍交流では、実際に行われた交流内容について保護者の方からのアンケートをもとに具体的にお知らせいたします。

保護者向け進路講演会



令和8年2月16日（月）葛飾特別支援学校の教務主任と進路専任を講師にお招きし「進路講演会」を実施しました。参加希望者は22名でした。講演内容は、「高等部での生活やその後の進路について」ということで、現在の高等部のカリキュラムや、学校生活の様子、卒業までどのように実習を進めるのかなど、詳細な情報で高等部での生活がイメージでき、進学への安心感がもてるものにな

っていたのではないのでしょうか。さらに高等部卒業後の進路情報を細かいところまで聞くことができ、充実した講演会となりました。また、講演の中で、学校生活のうちに、土台となる健康管理や日常生活管理などを整えておく「就労準備性」についてのお話があり、お子さまの将来像を見据える上で今から取り組むことの必要性を考える機会となりました。その点につきましては、本校教員とも相談しながら、取り組んでいければと思います。

当日の資料は御希望の方にはお渡しすることができますので、担任の先生を通じて支援部千葉まで御連絡ください。また、当日の講演内容の動画配信も予定していますので併せてご覧いただければと思います。



副籍交流



令和7年度は、168名の児童・生徒が副籍交流を実施しました。次年度も、地域指定校や関係機関と連携しながら、副籍制度の充実を目指していきます。今年度、交流を実施された保護者のアンケートを一部掲載します。ぜひ、これからの交流活動の参考にしていただきたいと思います。

直接交流（小1）

帰りの会や行事に参加させていただき、短い時間ではありますが楽しく交流できました。学級に自己紹介カードを掲示していただいたことで、息子が来ることを心待ちにしてくれており、参加しやすい雰囲気でした。毎回、息子の机と椅子を用意してくださり、居場所を感じる事ができました。副籍交流がなかったらできなかった経験も多く、ありがたく思います。

直接交流 (小3)

1学期は朝の会に参加して、国語のドリルをお借りして漢字の書き順を学びました。2学期は学習発表会のリハーサルを鑑賞させていただきました。短い時間の中でも、「久しぶりだね。」と声を掛けてくれたり、離れた席から手を振ってくれたり、息子は少し照れながらもとても嬉しそうでした。

直接交流 (中3)

3年生の教室と一緒に給食を食べました。学校や教室に入っているのは慣れているので、スムーズに入室できました。校長先生、副校長先生、担任の先生にも「こんにちは。」とあいさつができ、お手紙を渡すことができました。隣の席の男の子に手洗い場へ連れて行ってもらい、給食も残さずに食べていました。参加できてよかったです。

間接交流 (小2)

同じ保育園のお友達が通っており、学年便り等の手紙を読んで、情報収集できることを嬉しく思います。学級活動や授業への参加はハードルが高いように感じていますが、このような無理ない範囲で地域とのつながりがもてて、満足しています。

間接交流 (小6)

数年、間接交流で自己紹介カードの掲示をお願いしています。息子の存在や様子を明るく伝えられたらと考えながら、自己紹介カードを作成するのは楽しかったです。交流先の先生方やお友達が楽しく読んでくれていたことを聞いて、嬉しく思いました。

<直接交流>

- 小学校便りを直接交換する（朝の会、帰りの会等）。
- 帰りの会にダンスや歌、ミニゲームで交流する。
- 行事を参観する（運動会・音楽会・学芸会・展覧会等）。
- 授業に参加する（国語・算数・理科・音楽・体育などの教科、学級活動）。
- 休み時間に一緒に遊ぶ。
- 校外学習に参加する。 など

<間接交流>

- 学校経由で地域指定校のお便りを御家庭にお届けしました。本校からも学校便りを地域指定校へ送付し、校内掲示をお願いしています。
- 行事の案内やプログラム、招待状をもらう。
- 自己紹介カードや図工作品の紹介カードを作成し、地域指定校で紹介・掲示をする。
- 地域指定校の展覧会に、図工作品を展示する。 など

☆副籍交流の交流内容変更を希望される方は、新年度の個別面談で担任にお伝えください。